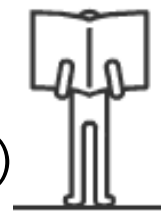


驚異の細密表現展

—江戸・明治の工芸から現代アートまで—

関連図書資料展示



設置場所:横須賀美術館 図書室(本館2F)

設置期間:2024年4月20日(土)~6月23日(日)

休室日・開室時間は美術館に準じます。

横須賀美術館図書室では開催中の企画展に関連した所蔵資料を集めて展示したコーナーを設置しています。上記期間中は本展図録のほか、明治期の輸出工芸品や近代の写実表現など、出品作品および作家にまつわる図書資料をご覧いただけます。

---ご利用は無料です。展覧会とあわせてお立ち寄りください。

資料の一部をご紹介します

『超絶技巧美術館 超細密絵画、スーパーリアル・フィギュア、複雑怪奇な工芸品!?
現代作家20人の挑戦に迫る!』
山下裕二/監修(美術出版社, 2013)

『驚異の超絶技巧! 明治工芸から現代アートへ』
浅野研究所/編(浅野研究所, 2017)

『超絶技巧、未来へ! 明治工芸とそのDNA』
浅野研究所/編(浅野研究所, 2023)

『西洋を魅了した「和モダン」の世界 明治・大正・昭和に生まれた輸出工芸品』
金子皓彦/著(三樹書房, 2021)

『海を渡ったニッポンの家具 豪華絢爛仰天手仕事』
住友和子編集室+村松寿満子/編(LIXIL出版, 2018)

『世界に愛されたやきもの真葛焼 初代宮川香山作品集』
山本博士/編 宮川香山真葛ミュージアム/監修(神奈川新聞社, 2010)

『神業ニッポン明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼』
求龍堂/編 荒川正明/監修(求龍堂, 2019)

『写実の系譜Ⅰ 洋風表現の導入 江戸中期から明治初期まで』
東京国立近代美術館/編(東京国立近代美術館, 1985)

『写実の系譜Ⅱ 大正期の細密描写』
東京国立近代美術館/編(東京国立近代美術館, 1986)

『リアル(写実)のゆくえ 高橋由一、岸田劉生、そして現代につなぐもの』
平塚市美術館, 足利市立美術/監修(生活の友社, 2017)

『そっくりの魔力 ニッポンの写実』
北海道立函館美術館, ほか/編(北海道新聞社, 2017)